

文化・芸術

「メルトオフ・転写メタリック織物(正方形)」

1993年、103号×101号
写真 KOHEI TAKEE ©

新井淳一 (1932～2017年)

万華鏡のようにきらびやかな色彩を放つ布。色彩だけでなく、中央部が大きく膨れていたりと不規則なしわが入っていたりとそのテクスチャーも複雑で個性的です。金銀糸を用いて織った生地のアルミを部分的に溶解除去して模様を作る方法「メルトオフ」や転写擦染(なっせん)などの技法を駆使して制作されました。

制作したのは、桐生出身のテキスタイル・プランナー、新井淳一。

「デザイナーではなく「プランナー」を自称していたのは、分業化された各工程の職人たちと協働して織物の制作を企画していく、という意識からかもしれません。

現在、大川美術館は展示替えのために休館中ですが、7月23日(木・祝)から、企画展「テキスタイル・プランナー 新井淳一の仕事 未だ見ぬ布をつくる」を開催いたします。2018年に大川美術館では、新井のテキスタイル作品122点を収蔵いたしました。それらの作品の中から精選し、今回の展覧会でお披露目となります。どうぞお楽しみに。

(池田)

名画の扉

大川美術館企画展から

